

テーマ「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」

【指標設定の考え方】

- 将来像の実現に向け、その達成度合いを測るための定量的・定性的な指標を複数設定する
- 活動指標（整備実績等）と成果指標（機能評価）を適宜組み合わせ、取組の効果や進捗を明らかにする

【指標例】

- 公園
 - ・子どもが自由に遊べる公園を地域ごとに●箇所以上整備（活動指標）
 - ・公園整備により、公園不足地域を●%改善（成果指標）
- 街路樹
 - ・街路樹を●本、●㎡植栽（活動指標）
 - ・沿道で確認される野鳥が●種類増加（成果指標）
 - ・「街路樹」を“大切にしたいみどり”と思う区民の割合を●%向上（成果指標）

将来像の案	将来像から導いた基本方針	施策の現状	施策の新しい方向性	具体的な施策
①区民のQOL（生活の質）が向上するまち	① みどりの多機能性と練馬の特性が発揮されている環境を構築するために、みどりを確保・整備します（まもる・つくる）	◇緑被面積に主眼をおいて整備を進めてきた ◇全区的な視点でみどりのネットワークを計画し整備を進めてきた ◇練馬の原風景（農地や樹林地）の保全を推進してきた	◇みどりの機能に着目したみどりの確保・整備 ◇地域のみどりの特性に着目した確保・整備 ◇全区的な視点でみどりのネットワークを形成 ◇練馬の原風景（農地や樹林地）の保全を推進	
②主体的にみどりと関わる暮らしを送れるまち	② 区民が自分事としてみどりを楽しめる暮らしを実現するための、多様な取組を推進します（実感する）	◇みどりの活用より、みどりの確保・整備や保全制度の適用に重点をおいてきた ◇子ども向けの取組は、学校での環境学習が中心だった ◇公共的な場での活用等が主で、民有のみどりの活用の取組は少なかった ◇区民意見は、主にアンケートや苦情等によって把握してきた	◇区民の利活用の機会や仕組みの充実 ◇学校以外の場所でも、子どものみどりの体験を充実 ◇公共・民有両方で、年齢層等に応じた活動支援を充実 ◇みどりの区民会議等生の区民意見を聴取し反映	
③地域コミュニティの醸成が進んだ安心して暮らせるまち	③ 地域の魅力をさらに向上させるために、みどりの利活用を通じた、人と人とのつながりを育てます（つながる）	◇みどりに興味がない人向けの取組が少なかった ◇区と区民の協働が多く、また、維持管理への参加が主だった	◇所有者と周辺住民、活動したいグループなど区民同士の交流や協働を促進 ◇地域の課題解決にみどりを役立てる取組の推進 ◇多くの人が参加しやすい協働の仕組みを推進	
④誰もがみどりの豊かさを自慢できるまち	④ 練馬のみどりの魅力を多方向に発信し、区民による情報交流を推進します（発信する）	◇区HPや区報など全区一斉型のPRが主だった ◇個別の取組（1人1単位等）ごとのPRをしてきた ◇みどりの必要性や多機能性についての普及啓発が少なかった	◇対象を意識したPR方法の選択 ◇区以外の媒体の活用 ◇区民が自分事として発信したくなる工夫 ◇みどりの必要性や多機能性についてのPRを充実	